

日産スタジアム

約7万人収容する日本最大の競技場 オーバーレイ工法でトラックを改修

日本最大の競技場として1998年3月に開業した日産スタジアム。

Jリーグの横浜F・マリノスのホームグラウンドや陸上競技等の国際大会、コンサートなど多目的に使用されている。

収容人員7万2327人を誇る同スタジアムは、(財)日本陸上競技連盟第1種公認施設となっており、全天候型トラック400m×9レーン、天然芝インフィールド106×72mで構成されている。

同スタジアムが備わる新横浜公園内には、日産フィールド小机(補助競技場、400m×8レーン)、日本陸上競技連盟第3種公認)、日産ウオーターパーク(幼児プール、流水プール等)など、さまざまなスポーツ施設が設置され、利用者の幅広いニーズに込えている。

(トラックや幅跳び走路を改修)

2007年から'08年にかけての改修工事は、公認の更新に伴って実施された現地指導の際の指摘事項を改善するために行われた。

トラック(1、2コース全周、メインスタンド側全面)および幅跳び走路など競技フィールドはオーバーレイ工法により改修を行い、マーキングの全面塗り直しやA・Bゾーンの不陸調整なども同時に実施された。また、スタート位置に遮熱トップコートを導入。競技者が利用しやすい環境が整えられた。

そのほか、ウレタン材などの材料にはホルムアルデヒドなどをはじめ有害な化学物質を使わないよう配慮するなど、さまざまな環境対策を考慮して改修工事が進められた。

競技者保護を目的として遮熱トップコートを導入した

©(財)横浜市体育協会



所在地 / 神奈川県横浜市港北区小机町3300
電話番号 / 045-477-5000
管理運営者 / 横浜市体育協会・横浜マリノス・管理JV共同事業体
施設概要 / トラック400m×9レーン、インフィールド106×72m
改修年月 / 2008年3月